

令和4年度 管理業務主任者試験解答速報 【12/14版】

問1	2	問11	3	問21	2	問31	2	問41	2
問2	2	問12	4	問22	1	問32	3	問42	1
問3	2	問13	4	問23	3	問33	4	問43	3
問4	2	問14	4	問24	3	問34	2	問44	1
問5	1	問15	4	問25	2	問35	3	問45	1
問6	4	問16	3	問26	1	問36	2	問46	2
問7	3	問17	1	問27	4	問37	1	問47	4
問8	3	問18	3	問28	4	問38	3	問48	1
問9	3	問19	3	問29	4	問39	4	問49	1
問10	2	問20	3	問30	1	問40	2	問50	4

※後日情報を更新する場合がございます。あらかじめご了承ください。

※この解答速報の著作権はTAC (株)のものであり、無断転載・転用を禁じます。

※TACの予想合格ラインは36±1点(12/14 12:00更新)です。
あくまでもTAC独自の予想であり、合格を保証するものではありません。
本予想ラインは変更の可能性もございます。あらかじめご了承ください。

TAC 管理業務主任者講座

令和4年度管理業務主任者試験講評

(本試験所感)

問題全体の難易度は、昨年度と同様、ひっかけ問題、個数問題（昨年より2問減り10問）や組合せ問題（7問）があったものの、解答を出しやすい問題が多かった。その反面、「地震保険法」や昨年に続き「賃貸住宅管理業法」などの法令も散見された。

今年度も、いかに過去問題の論点を把握し、同様論点の繰り返し問題から1点でも正解につなげ、得点を伸ばせたかが、合否を分ける要因となったのではないかと。

(民法・区分)

今年、民法からは5問出題された。弁済充当の順序を判断するといった過去問であまり出題されていない論点からの出題もあったが、他は基本事項を問う平易な問題だった。

区分所有法は、敷地利用権についての法的な理解を問い、解答しにくい問題もあった。

民法・区分所有法全体としては、昨年より易しかったと思われる。建替え等円滑化法からは改正点から1問出題された。

(規約・会計)

標準管理規約や標準管理委託契約書は、現場思考が要求される問題や個数問題も多く、改正点も問われたが、基本的知識から正解できる問題もあった。会計は、3問出題され、仕訳だけでなく、貸借対照表も出題されたが、過去問を理解していれば解けたのではなかろうか。

(維持・保全)

過去問で解答できる簡単な問題と、コンクリートのひび割れ調査等の非常に難しい問題の二極化となった。また、長期修繕計画作成ガイドラインが3年連続で出題された。今後も出題が予想されるので本年度未出題の改正点等を注意したい。過去問で対策できる問題が多く出題されているので、7割程度の得点を目指したい。

(適正化法)

昨年度と比べ、個数問題は昨年より1問減り1問出題され、組合せ問題は昨年より1問増え3問出題された。しかし、改正知識は問われたものの、難しい通達論点はなく、正確な知識さえあれば、比較的解答を出しやすかったと思われる。4点以上の得点を目指したい。